お問い合わせ・申し込み先

〒３９９－１８０１　長野県下伊那郡泰阜村６３４２－２
ＮＰＯグリーンウッド「山賊キャンプ係」

ＴＥＬ:０２６０（２５）２８６１
ＦＡＸ:０２６０（２５）２８５０

受付時間　ＡＭ１０：００～ＰＭ６：００（土・日・祝日除）

ＦＡＸ・Ｍａｉｌ は２４時間受付可能です。
番号等お間違えのないようお願いいたします。

ＵＲＬ： https://www.greenwood.or.jp
ホームページからの申し込みも可能です。
インターネット割引実施中です。

Ｍａｉｌ：sanzoku@greenwood.or.jp
資料請求、お問い合わせが可能です。

NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター

2026 冬の信州 こども山賊キャンプ®

Sanzoku Camp　Yasuoka・Nagano

１１月５日(木)
申し込み開始！

インターネット割引実施中！　信州こども山賊キャンプ
https://www.greenwood.or.jp/

後援：文部科学省／林野庁／長野県／長野県教育委員会

冬キャンプがやってくる！

最長老　しん　より

全国のこども山賊の仲間たち！夏に続いて待ちに待った季節がやってきたぞ。信州やすおか村の冬はとっても寒い。でも、寒いからこそ楽しめることがいっぱいある。それを思いきり楽しむのが、冬の信州こども山賊キャンプだ！
冬の信州こども山賊キャンプは、信州やすおか村の大自然を舞台に、遊んで、働いて、楽しく暮らすキャンプだ。はじめてキャンプするお友だちから夏も参加したベテランのお友だちまで、思う存分楽しめる内容を山賊の長老たちが用意したぞ。
冬の信州こども山賊キャンプが大事にしていることがある。それは、「みんな違ってみんないい」ということだ。全国各地から、年齢も性別も性格も何もかもが違う仲間が集まる。新しく出会う顔。いつもと同じ顔。夏にやさしくしてくれた相談員。夏にはちょっとケンカしてしまったお友だち。集まった仲間同士の良いところを認め合って、力をあわせることができたらとっても素晴らしいキャンプになることは間違いない。「みんな違ってみんないい」という楽しさをたくさん感じよう！
さあ、おいでおいで、冬の信州やすおか村に。きっと今まで味わったことのない冬が、君を待っている。山賊の長老たちは、君のチャレンジを待っているぞ！

CONTENTS

山賊キャンプのおきて　・・・・・・・　２～　３
各コースの紹介　・・・・・・・　４～　７
山賊キャンプ基本メニュー　・・・・・・・　８～１０
冬の山賊キャンプのあるコースの様子　・・・・・・・１１
山賊キャンプのスタッフ　・・・・・・・１２～１３
主催者NPOグリーンウッドについて　・・・・・・・１４～１５
山賊ももちゃんの山賊Ｑ＆Ａ　・・・・・・・１６～１７
募集要項、持ち物など　・・・・・・・１８～２２

さぁ、冬の山賊キャンプは何をして遊ぼうかな？じっくり見て考えてね！

山賊のおきて

とっても大事なことが
書いてあるんだよ。
もしわからない言葉があったらお父さん
お母さんに意味を教えてもらってね。
おきてを守れることが
山賊キャンプへの参加の条件だよ！

山賊キャンプのおきて

その一　君たちこどもが主役だ
山賊は仲間たちと話し合って暮らす。知恵を絞って力をあわせた分だけ楽しくなる。

その二　思いやりの心をもつ
年上は年下を、力の強い子は力の弱い子をしっかり守り助けるのが山賊だ。一緒に暮らす仲間のことをいつも思いやるべし。

その三　食事は自分たちで作る
マキで火をおこす。仲間がたくさんいるから大丈夫。ちょっとくらいコゲたって、自分たちの力で作ったごはんはおいしいに決まっている。

その四　チャレンジが基本だ
山賊キャンプでは、いつもチャレンジの心を持つことが基本だ。難しいけれども、乗り越えたときに、君にとっての一生の想い出になるだろう。

その五　働かざるものクウベカラズ
遊びだけスゴクても、山賊とは言えない。食事の準備、火おこし、片づけ、寝床作り、そうじ…。暮らすための仕事はいっぱいだ。

その六　あいさつをする
山賊の仲間づくりはあいさつから始まる。初めて出会った仲間に、勇気を出して声をかけよう。村の人に出会ったら、元気よくあいさつしよう。その瞬間、君は山賊になる。

その七　仲間はずれは許さない
山賊はケンカする。でもイジメは許さない。一人の喜びは人数倍にして、みんなで笑う。一人の悲しみは人数で割って、ともにわかちあう。山賊キャンプではそんな仲間を作りたい。

その八　山や川は大事な友達だ
やすおかの山や川、空や大地はとってもきれいだ。どうすればこの大事な自然を汚さないで楽しく暮らすことができるか？山賊はそんなことをみんなで考える。

右、こころにきざんだ者
信州やすおかの山賊
となることを許可する

二〇二六年　冬　最長老　しん

冬の山賊キャンプ各コースの紹介

2026 冬の山賊キャンプは、4つの冒険！

山賊の里 発見者コース

冬の山賊、はじめの一歩。

火を囲んで、ご飯をつくって仲間と遊ぶ。
地域の人と出会いながら
山賊の楽しさをたくさん発見しよう。

初参加にもおすすめ！

- 12/26（金）～12/30（火）
- 定員　30人
- あじと　暮らしの学校だいだらぼっち
- 山賊度　★★★☆☆

山賊の森 冒険者コース

森は、最高の遊び場だ。

冒険とは、「一歩先へ踏み出すこと」。
ありのままの森の中で
仲間と冬の森を思いきり遊びつくそう。

森遊びが好きな子に！

- 12/26（金）～12/30（火）
- 定員　20人
- あじと　唐笠地区集会所
- 山賊度　★★★★☆

山賊の秘境 開拓者コース

遊ぶ場は、君たちが創る。

決まった遊び場もなく、
そこにあるのは仲間と広い自然。
自分たちの手で遊び場を探し創り上げる。

誰よりもチャレンジ精神旺盛な子に！

- 12/26（金）～12/30（火）
- 定員　16人
- あじと　梨久保地区集会所
- 山賊度　★★★★★

山賊の宴 お年とりコース

1年に1度の特別キャンプ。

餅をついてお年とり料理をつくって、仲間と1年を締めくくる。新しい1年を迎える特別な時間です。

みんなで年越し！

- 12/30（火）～1/3（土）
- 定員　30人
- あじと　暮らしの学校だいだらぼっち
- 山賊度　★SPECIAL

★★★ 山賊の里 → ★★★★ 山賊の森 → ★★★★★ 山賊の秘境

★SPECIAL 山賊の宴

2つの期間を連続して参加することもできます。

↓4つのコースを詳しくみてみよう！

おおみそかには、伊那谷の伝統行事「お年とり」を味わい、みんなで手作りのお正月をむかえる準備をしよう。おもちをついたり、そばやうどんを打ったり、ごちそうをいっぱい作るんだ。夜はそのごちそうを食べて、お正月遊びで盛り上がろう！

※伊那谷では、１２月３１日から１月１日のことを「年こし」とは言わずに「年とり」と言います。その昔とっても貧しかったこの山村で、おおみそかの夜だけは「尾頭付きの魚」を食べて、家族全員で新しく年をひとつとったのです。その風習が今でも息づいており、このキャンプではその「お年とり」を体験します。

お年とりコースの特別プログラム

（※活動内容は天候その他により変更となる場合もあります。）

冬の山賊キャンプの魅力 紹介コーナー

家族みたいな仲間とのあったか～い暮らし！

冬キャンプは、こどもの数が２０～３０人と少人数のキャンプ。
だから、自分たちで考えた遊びを一緒に楽しんだり、毎食、同じ釜の飯を食べたり、五右衛門風呂であたたまったり…。組に参加している仲間全員の名前も覚えて、本当の家族みたいにあったか～い暮らしを味わえるよ！
そんな山賊仲間との暮らしは、きっとかけがえのない、忘れられない想い出になる！

地元農家のみなさんが育てた美味しい冬野菜！

キャンプの楽しみといえば、やっぱりごはん！
冬キャンプで使うおいしい大根や白菜、ほうれん草。どれもやすおか村の農家の方がキャンプに参加するみんなのために手間隙かけて育てた野菜なんだ！みんなのことを考えて農薬を減らしてつくった安心・安全、そしておいし～いお野菜！新鮮な食材を使ったお鍋なんて、もーう最高！！
やすおか村で食べるのを楽しみにしててね！！

やりたいことはこどもが決める！

山賊キャンプはやっぱり「こどもが主役！」
特に、冬キャンプはこどもの数が少ない分、一人ひとりが意見を出していくことがより大切になってくる！
キャンプでやりたいこと、叶えたい夢は何？冬だからこそできるチャレンジ！
きっとあるよね！？それをやすおかに持っておいで！！
みんなで最高に楽しいキャンプをつくろう！

山賊ももちゃん

山賊キャンプ　基本メニュー

山賊ももちゃんと一緒に山賊キャンプでどんなことをするのか見てみよう！
どのコースもこれらのメニューが基本になっているよ。
※コースや組、参加者の状況により活動内容は異なりますので、全部のメニューを行うということではありません。

山賊会議　～　どのコースに参加するにも大切　～

山賊キャンプのプログラムや暮らしのルールなどは、基本的に全員参加の「山賊会議」で決めていくよ。期間中にやりたいことなどの意見を出し合い、自分たちでプログラムを組み立てていくんだ。また、楽しい場を作っていくために、暮らしの中で困っていること、悲しんでいること、変えたほうが良いことなどをみんなに伝え、全員で今起こっている問題を解決していくよ。

☆ Point
自分たちで山賊会議というコミュニティーを運営することによって、主体性の発揮を促し、コミュニケーション能力を育み、そして自分たちで決めたことを実行するという責任感を培っていくことを狙いとしています。

ごはんづくり

朝・夕の食事作りは山賊キャンプの大切な活動だよ。みんなで作ったご飯はおいしいよ！

☆ Point
なぜ、わざわざ手のかかる食事作りをするのか？それは、手のかかるちょっとめんどうな暮らしの作業の中にこそ、こどもたちの主体性が発揮される場面があるからです。「待つ」から「関わる・動く」へ。食事作りを通して、主体性とチームワークを学びます。

※昼は、遊びの時間を確保するために行動食となります。

森の冒険・山のぼり・やすおか探検

朝ハイキングや山のぼり、森の冒険に出かけるよ。やすおか村には楽しい場所が盛りだくさん。
何がおこるか何に出会えるか！さぁ、みんなでやすおかの森へ探検に出かけよう！

落ち葉でそりすべり

冬の森にはふかふかの落ち葉がいっぱい！その上をそりで滑ってみようよ！

落ち葉で焚き火

みんなで落ち葉を集めて、焚き火をしよう。パンを焼いたり、焼きいもしたり…！火を囲んでお茶を飲むのも素敵だね！

ネイチャークラフト・工作

里山には色んなものがあるよ。木のつる、竹、枝、わら…。何を使って何をつくるか。それは君しだいだよ。

野　宿

夏の山賊キャンプで大人気の野宿は冬にもやっぱり大人気！「寒さなんかに負けるもんか！」って勇気のある君は野宿に挑戦だ！

※野宿については参加者の健康状態、その他状況を考慮して主催者側で実施を見合わせる場合がありますので悪しからずご了承ください。

キャンプファイヤー

焚き火を囲んで、降ってきそうな星空を見上げながらおしゃべりしたり歌ったり。
山賊たちは冬の夜も盛り上がるよ！

雪がふれば…？雪あそび！

もしかしたらのおたのしみだよ

Education talk　なんで「山賊」なの？

こどもが成長していくためには、安心して自分を出せる環境が不可欠。山賊というユニークなコンセプトは、キャンプを楽しい雰囲気にして、より開放感を与えてくれます。山賊仲間は大人もこどももキャンプネームで呼び合い、仲間とのかかわりに親近感を高めます。「安心と楽しさ」がキーワード。

薪わり＆薪ストーブ＆五右衛門風呂

山から出した薪を自分たちで割る。割った薪でストーブをたいたり、お風呂をたいたりするんだよ。薪でたいたお風呂は温泉みたいに気持ちいぃ～！ストーブのまわりでおしゃべりしたり、歌ったり、自然とみんながあつまってくるよ。

もちつき・きなこづくり

冬の山賊キャンプの人気アクティビティ！もちつきはしたことあるかな？つきたてのおもちを食べたことはあるかな？きなこってどうやって作るのかな？
みんなで協力してついたおもちはとってもおいしいよ！

Education talk

どうして自然体験なの？

こどもは知識を、体験をもとに理解するといわれ、体験活動は学力を支える基礎となるといわれています。
しかし、いまこどもたちには、その理解の基礎となる直接体験の機会が不足しています。
山賊キャンプは直接体験の機会はもちろんのこと、その体験をふりかえり、仲間と共有し、次の日に生かすことを促進（ファシリテート）しています。このようにしてこどもの学びと成長を支えているのです。

お正月あそび

福笑い・かるたとり・はねつき・たこあげ・こままわし。昔ながらのお正月あそびをやろうよ。

冬の山賊キャンプのあるコースの様子

（※各組により活動の詳細などは異なります。）

pm6:00頃
宿泊する施設に到着

pm6:30頃
山賊カレーを食べます
（着いた日の夜ごはんはスタッフが用意します）

山賊会議

pm9:00頃
施設の中で
寝袋を使って寝ます

am6:00頃
起床

朝づくり

落ち葉でそりすべり

もちつき

野菜の収穫

遊んだり、働いたり、
ごはんを作ったり！

ごはんづくり

みんなでいただきます！

天竜川まで探検

キャンプファイヤー

最後の夜は
族ごとでキャンプの「ふりかえり」

五右衛門風呂

自分たちで
薪をくべて焚くよ！

朝にバスが
出発するよ！

山賊キャンプのスタッフ

ＮＰＯグリーンウッドの専任スタッフ陣

ＮＰＯグリーンウッドは、自然体験教育活動の専門組織として、多数の常勤スタッフを擁しております。全スタッフが地域住民となり、暮らしに根づいた活動を展開しています。山賊キャンプでは専任スタッフを中心に指導者研修を修了したキャンプリーダーがキャンプを力強くサポートします。

し　ん（齋藤新）

大学を卒業後、出版業界へ。根元の教育に携わることが「世界平和」、「日本の未来創り」につながると考え、児童書の編集に携わる。その後実践できる活躍の場を探していた中で、グリーンウッドに出会う。
現在は代表としてグリーンウッドの教育を社会に拡げるべく邁進中。
１９７４年生。千葉県出身。

＜現在の役職・資格＞
・ＮＰＯグリーンウッド代表
・飯田短期大学非常勤講師
・自然体験活動（ＣＯＮＥ）トレーナー
・自然体験活動（ＣＯＮＥ）リスクマネージャー
・認定ファンドレイザー

バ　ズ（矢加部優）

大学在学中、学生による自然の中での集団宿泊研修を企画・運営する。小学校教育を学ぶ中で自然体験に興味を持ち、ボランティアとして山賊キャンプに参加。グリーンウッドの教育観に共感し、参画。
１９９０年生。埼玉県出身。

＜現在の役職・資格＞
・ＮＰＯグリーンウッド事務局長
・ＮＰＯグリーンウッド地域教育チーム
・レスキュー３
（スイフトウォーターレスキュー
テクニシャン・レベル１）

なるこ（渡邉朱里）

学生時代、元代表辻の授業を履修し、グリーンウッドを知る。自分の経験を持って、生きていく中にある面白さや豊かさを伝えていける人になるためには、地域や自然に根差した暮らしを丁寧に重ねる経験が必要だと思い、参加。
１９９８年生。神奈川県出身。

＜現在の役職・資格＞
・ＮＰＯグリーンウッド地域教育チーム
・ＮＰＯグリーンウッド企画推進チーム

もーりぃ（森久哲）

北海道の自然の中で川を中心とした自然体験活動や暮らしの中の学びを探求する「教育内容方法学」を専攻。２年間の中学校家庭科教員を経たのち、学びの本質や 共に生きることに関心を持ち、グリーンウッドに参画。暮らしの中の“てづくり”を大切にしている。
１９８２年生。奈良県出身。

＜現在の役職・資格＞
・ＮＰＯグリーンウッドだいだらぼっちチーム
・レスキュー３
（スイフトウォーターレスキュー
テクニシャン・レベル１）
・ウィルダネス ファーストエイド
（野外・災害救急法）ベーシックレベル受講

く　る（岡田くるみ）

小学校５年生の時、暮らしの学校だいだらぼっちに1年間参加し、自分自身の「ねっこ」が育つ経験をする。大学卒業後、ありのままの自分を安心して発揮できる居場所を作りたいと思い、教育現場や地域のカフェで活動する。その中で、教育を通して違いが豊かさになる場を大切にしたいと思い、参画。
１９９９年生。埼玉県出身。

＜現在の役職・資格＞
・ＮＰＯグリーンウッド企画推進チーム
・ＮＰＯグリーンウッド地域教育チーム

あでりー（遠藤理子）

大学でのスキューバダイビングや調査船の活動から体験を通して学ぶことの大切さに気づく。また山賊キャンプにボランティアとして参加し、一人ひとりの主体性を大切にしたプログラムと自然を身近に感じる暮らしの価値を知る。人や自然と共に生きるおもしろさを伝えられる人を目指し、参画。
２００２年生。千葉県出身。

＜現在の役職・資格＞
・ＮＰＯグリーンウッドだいだらぼっちチーム

うっちゃん（武内優里）

大学在学中に小学校教育を学ぶ。屋久島での環境教育をきっかけに「暮らしから生まれる学び」や「自然体験」に関心を持ち、さらに学びを深めるべくグリーンウッドに参画。地域の方や子どもとつながり、つくる暮らしを大切にしたいという思いで「やすおかっ子１年生」として奮闘中。
２００３年生。鹿児島県出身。

＜現在の役職・資格＞
・ＮＰＯグリーンウッド企画推進チーム
・ＮＰＯグリーンウッド総務チーム

山賊キャンプではみんなキャンプネーム！

キャンプでは、子どももスタッフもキャンプネーム（ニックネーム）で呼び合います。年齢や立場をこえて、一緒に遊び、一緒に暮らす仲間だから。この冬はどんな長老に出会えるかな？

なおみち（森奈央美）

大学で社会福祉、保育学を学ぶ。名古屋の保育園で保育士しとして5年勤務した後、「人が育つ環境づくり」の原点である「暮らし」をみつめたいと考えグリーンウッドに参画。やすおか村民としても家庭、社会づくりの肝を学ぶ日々。
１９７７年生。愛知県出身。

＜現在の役職・資格＞
・ＮＰＯグリーンウッド総務チーム

ふーみん（管野美文）

在学中、学校教育を学ぶ中で、自然体験活動やオルタナティブ教育に関心を持つ。
大学４年次を休学し、グリーンウッドの長期インターンに参加。
大学卒業後、信州型やまほいくを実践する園にて保育スタッフとして２年勤務。
暮らしの中にある奥深さを味わい、こども達と共に学ぶことに再挑戦したいと考え、グリーンウッドに参画。
２０００年生。東京都出身。

＜現在の役職・資格＞
・ＮＰＯグリーンウッド地域教育チーム

い　と（吉田愛都）

在学中、教職課程にて教育を学ぶ。また岩手県紫波町への間伐体験ツアーを企画、運営。タイで行われているワークショップに参加し、そこで地域教育の重要性を感じグリーンウッドに参画。２児の母。
１９９１生。東京都出身。

＜現在の役職・資格＞
・ＮＰＯグリーンウッド企画推進チーム

く　み（松下公美）

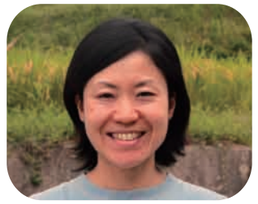
農学部で森林・林業について学ぶことや、鹿児島の田舎での地域振興に関わる活動を通して自分自身の自然体験を重ね、持続可能な社会の創出に貢献したいと考え始める。主体的な学びと認め合いの心を信じ、グリーンウッドで実践したいと思い参画。
１９９６年生。福岡県出身。

＜現在の役職・資格＞
・ＮＰＯグリーンウッドだいだらぼっちチーム
・レスキュー３
（スイフトウォーターレスキュー
テクニシャン・レベル１）

あ　お（伊藤真菜）

大学卒業後、自分自身の視野や価値観を広げるためにデンマークとネパールに留学。多様なバックグラウンドをもつ人たちとの共同生活やホームステイを経験するなかで、”暮らし”から得られる学びや、実際に”体験する”ことの価値に気づく。「暮らしから学ぶねっこ教育」を実践するグリーンウッドの事業と考え方に共感し、参画。
２０００年生。神奈川県出身。

＜現在の役職・資格＞
・ＮＰＯグリーンウッドだいだらぼっちチーム



ぱ　る（齋藤晴子）

大学卒業後、国際開発に携わりたいと建設業界へ。海外赴任中、国際問題の解決には次世代を担うこどもの教育が必要と感じグリーンウッドへ転職。豊かな子育て環境を作り広めるべく、地域でのつながりを大切にまずは自身の子育てから実践中。３児の母。
１９７８年生。東京都出身。

＜現在の役職・資格＞
・ＮＰＯグリーンウッド総務チーム
・泰阜村教育委員

の　り（辻典子）

北海道の僻地での教員生活を経てグリーンウッドに参画。２男１女の母。こどもたちが夢をもって未来を語れるような社会になるよう、足元の教育や地域づくりを大事にしている。
１９７１年生。大阪府出身。

＜現在の役職・資格＞
・ＮＰＯグリーンウッド総務チーム

か　に（梶さち子）

東京で幼稚園教諭として４年間勤務した後、やすおか村に移住して自然体験活動の道に入る。１９８６年から地域の暮らしから学ぶオールタナティブスクールとして「暮らしの学校」を設立。
１９５４年生。福島県出身。

＜現在の役職・資格＞
・ＮＰＯグリーンウッド会長

≪NPOグリーンウッドスタッフ陣の資質について ≫

NPOグリーンウッドは、スタッフの資質として、「常に研鑽する」という姿勢を重視しています。日々の暮らし、活動の場面、こどもとの会話等、常に「学び」のアンテナを張るよう心がけています。
また、自然体験活動を安全かつ効果的に実施するために、資格や免許取得も奨励しており、スタッフ陣は、教員免許、文部科学大臣認定キャンプディレクター・インストラクター、自然体験活動推進協議会（CONE）資格、急流水難救助資格（レスキュー3）救急救命国際資格（Medic First Aid®　）などの各種資格・免許を取得しております。

≪山賊キャンプスタッフの「講演・講師」活動≫

地元から全国各地で講演や講義、研修等の講師として呼ばれています。

＊実績＊

講演講義
●テーマ：主体性を発揮する場づくり、自然体験の意義、教育による地域づくり　他
●対象：行政、大学、学校、PTA、幼稚園　他

研修
●テーマ：安全管理、主体性を発揮する場づくり、体験プログラム作成、人材育成　他
●対象：自然体験団体、プレーパーク、大学、学校、幼稚園、保育園　他

ＮＰＯグリーンウッドについて

現代社会は「誰かとつながること」が難しく、希薄になったつながりは社会課題を複雑にしています。
しかしながら、人は1人では生きられないことを里山の自然は教えてくれます。
人と自然が混じりあう暮らしの中で、こどもも大人も、ふぞろいな個性を発揮しながら他者と関わる。
それぞれが「できる」ことを少しずつ持ち寄って、目の前の小さな世界を変えていく。
そんな時間の積み重ねが人として大切な“ねっこ”を育み、やがて大きな社会課題を乗り越え、豊かな未来をつくると私たちは信じています。

VISON【グリーンウッドが目指す社会】

みんなが「できる」を持ち寄る社会

MISSION【グリーンウッドが担う役割】

人と自然が混じりあう暮らしから、ひとの“ねっこ”を育てる

VALUE【 グリーンウッドが大切にしている5つの価値】

- こどももおとなも安心して自分を表現できる場作り
- 違いを受け入れ、混じりあい、分かり合うことをあきらめない
- 答えを急がず、まわり道やでこぼこ道を楽しむ
- 自然と共に暮らし、思う存分遊ぶ
- 泰阜村に根差し、地域と共に未来をつくる

28の受賞歴

■2023年　オーライ！ニッポン大賞　グランプリ　内閣総理大臣賞
■2021年　ディスカバー農山漁村の宝
■2020年　第15回マニフェスト大賞「優秀政策提言賞」
■2020年　第８回環境省グッドライフアワード環境大臣優秀賞
■2017年　地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰
■2017年　第５回 信州協働大賞 大賞受賞
■2012年　地域づくり総務大臣表彰　　等々

数々の賞を受賞したグリーンウッド。
どれもグリーンウッド独自の教育的視点について評価されております。

920超のマスコミ実績

■ＮＨＫ総合『にっぽん紀行』
■フジテレビ『07たけしの日本教育白書直前スペシャル』
■日経ＫＩＤＳプラス　■ＡＥＲＡ with Ｋｉｄｓ
■Benesse進研ゼミ小学講座　チャレンジ通信

ほか多数の新聞・雑誌にて主催事業「暮らしの学校だいだらぼっち」及び「信州こども山賊キャンプ」が取り上げられております。

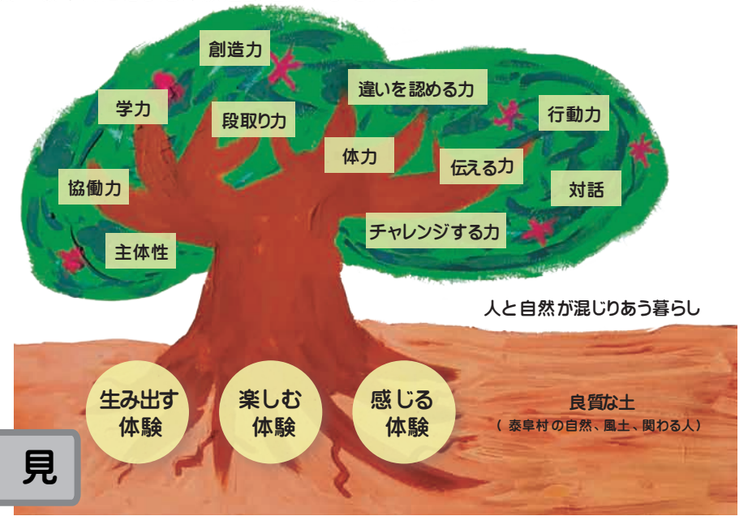
暮らしから学ぶ「ねっこ教育」

■ ひとの土台を作る「ねっこ教育」とは

枝葉や果実ばかりを育てると木も重さで折れてしまいます。大切なのは自らを支え、自らを育てる根っこ太く長く育つこと。人も同じではないでしょうか？スキルや学力ばかりで、正しく使える心がなければ間違いを犯したり、困難にぶつかったときに倒れてしまいます。人のねっこは、誰もが主体者であり他者と協働する「暮らし」で育ちます。必然と偶然、良いこともあれば困難もまた人を育てるのです。
私たちは「暮らしから学ぶねっこ教育」と称し、様々な年代に応じた体験活動を提供しています。

■ キャンプで育てるこどものねっこ

物事を理解するためには「体験」が必要です。まずは「やってみる」ことから始め、次に「反復」して多面的に捉え、習得し、理解を深めます。最後に「発見」し、言語化や知覚を通じて確実な理解へとつなげます。山賊キャンプはこのサイクルが何度も繰り返されるようにデザインされています。



体　験 → 反　復 → 発　見

ねっこ教育 3つの体験

楽しむ体験

「楽しむ」とは、「できなかったことができる」「知らないことを知る」という自分の世界が広がっていくことや、困難や失敗を乗り越える達成感です。まだ出会ったことのない「楽しい」と感じる体験は、知らない世界の扉を開き、探究心や好奇心、困難を乗り越える、前に進む力となります。

＜山賊キャンプの例＞
川遊び、ハイキング、キャンプファイヤー、きもだめし、野宿などありとあらゆる遊び、仲間との関わり、ご飯づくり

感じる体験

「感じる」とは、人や社会、自然、自分を取り巻くありとあらゆるものから五感を通じて情報を読み取り、見えないものを理解する力です。自分の身体を通じた感覚が見過ごされてしまいがちな現代。自らの「感じる体験」は、自分自身や他者、社会、自然との関係を創る力 となります。

＜山賊キャンプの例＞
仲間と協力する喜び、家族と離れる不安、相談員との関係、川の冷たさ、火の熱さ、暗闇、暑さや寒さ、突然の大雨　など

生み出す体験

食事作りや遊びのルール、計画を立てるなど、自分の暮らしに関わるものを生み出すことは自信を育てます。その過程の中でチャレンジや試行錯誤、失敗を体験し学びとなっていくのです。この繰り返しが自らの可能性の環を広げ主体的に社会に関わる土台となります。

＜山賊キャンプの例＞
ご飯づくり、キャンプのスケジュール作り、実行委員会、流しそうめん、工作　など

「ねっこ教育」を一年間通して行っている「ねっこ教育」の総本山

山村留学・暮らしの学校『だいだらぼっち』

暮らしの中の学びを丁寧に抽出し、総合学習プログラムとして構成したものが暮らしの学校「だいだらぼっち」です。
ＮＰＯグリーンウッドの根幹事業であり、理念を最も体現する事業でもあります。
１年間、地元の小中学校に通学しながら自然体験や生活体験を楽しみます。全国から集まる２０人程度のこどもたちは、大きな山小屋のひとつ屋根の下で、スタッフと共に大家族の一員となって自分たちの力で暮らしを作り上げます。日本最長の長期自然体験教育プログラムとして注目を集めています。

40年間のねっこ教育の成果
（一年間のキャンプ・暮らしの学校
だいだらぼっち参加者述べ約６５０名）

だいだらぼっちでの経験を糧に教育、芸術、医療、農業、国際関係など幅広い分野で活躍。
※参加者のその後はブログ「グリーンウッドの種」にて紹介中！また、現在参加中の子どもたちの様子もホームページにてご覧になられます。

https://www.greenwood.or.jp/daidara/index.htm

暮らしの学校だいだらぼっち　検索

山賊ももちゃんの山賊Ｑ＆Ａ

Q 冬の信州（泰阜村）って寒くないの？

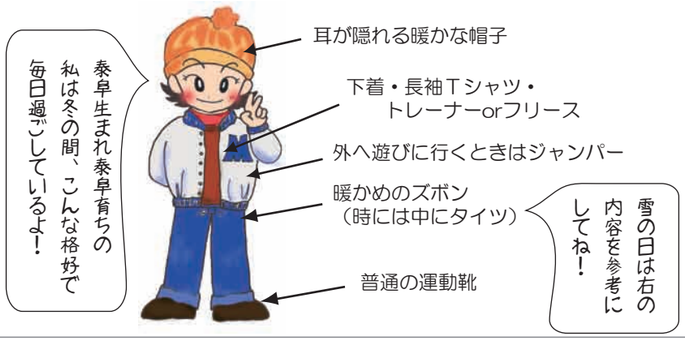
A 泰阜村は長野県の南部に位置していることから、太平洋気候に属しています。昼間は信州の中では比較的暖かく、夜は氷点下に冷え込むこともありますので暖かい格好が必要です。
手袋や帽子は必須のアイテムとなります。雪は常に積もっているわけではないですが、降り出すとひと晩で１０～３０ｃｍ積もるときもあります。くつ下も忘れないでお持ちください。

Q 冬の山賊キャンプの拠点はどこ？

A 基本的にはどのコースも建物を拠点にしながら色々な活動を行います。建物の中は薪ストーブがあったりするのでそんなに寒くないです。でも、活動の多くは外でも行うから暖かい服も持って来てください。

Q 冬の信州にみんなはどんな格好で来るの？

A



スキーウェアーやカッパが役立つよ！どちらにしても必ず下のズボンがあるほうが良いよ！そして、雪の日は長靴があると快適に遊べるよ。

Q 寝袋（シュラフ）はどんなものが必要？

A 基本的には建物の中で宿泊するので、夏に使ったシュラフでかまわないです。寒い時には毛布を用意しています。もし冬用の暖かいシュラフがあれば冬用のシュラフを持ってきてください。

Q グループって決まってるの？

A 年齢縦割りで、あらかじめ主催者側で決めています。1グループ10人前後男女混合グループでＮＰＯグリーンウッドの指導者研修を受けたボランティアスタッフが2名ほどつきます。※グループにつきましては主催者側で構成を決めますので、原則ご希望には添えかねます。あらかじめご了承ください。

Q 遊びの計画はどんな風に立てるの？

A こどもとスタッフが全員参加する「山賊会議」で３泊４日、４泊５日の予定をみんなが来てから決めます。お年とりコースのようにやることが一部決まっているコースもあります。

Q ごはんはどうするの？

A 自分たちでメニューを考え自炊をするのが基本。昼食は遊びの時間を確保するため行動食となります。食材はできる限り地元の農家などを利用し顔の見える範囲で供給しております。

Q 万が一ケガしたときは？

A 県立阿南病院まで車で10分（24時間受付）、村営診療所まで車で10分です。保護者に連絡の上、病院に診てもらいます。

Q 初めてでも4泊で大丈夫？

A 初めてで４泊は不安に思われる方もいらっしゃいますが、４泊には３泊とは違うよさがあります。
１日、日数が長いことで体験できることも多いですし、失敗したことにもう一度チャレンジする機会も増えます。また出会った仲間ともチームワークを発揮する場面も増えてきます。ホームシックになってしまった子も挽回するチャンスがあるのも４泊の組の魅力です。

Q 冬に泊まる“暮らしの学校だいだらぼっち”ってどんなところ?

A 山賊キャンプを体験した、たくさんのお友だちが『今度は1年間のキャンプがしたい！』と言って、１年間泰阜村の村民になって一から暮らしを作り上げていってるところです。
泰阜村の学校に通いながら、毎日、『連絡』といって山賊会議のような話し合いが行われて、やりたいことややらなくてはいけないことをみんなで決めて生活しています。
詳しくはホームページで日々の様子が見られますのでご覧ください。

https://www.greenwood.or.jp/daidara/da_day_2026/da_day_20260000.html

Q 食物アレルギーがありますが参加可能ですか？

A まずはお申し込み時にアレルギーの内容についてご記入ください。後日お送りする、「最終お知らせ」に詳細を記入する書面を同封いたしますので、そちらも必ず再度ご提出ください。アレルギーの程度により参加をお受けできない場合もございます。ご心配な場合はぜひ事前にスタッフにご相談ください。

Q 携帯電話やGPSは持って行ってもよいですか？

A 貴重品となる携帯電話についてはお持ちにならないようにお願いします。
また、近年通話機能のあるＧＰＳをお持ちなるお子様もいらっしゃいますが、親元を離れてのお子様のチャレンジを応援する意味でも通話機能のあるものはお持ちにならないようにお願いいたします。
なお、破損・紛失についての責任は当方では負いかねますのであらかじめご承知おきください。

Q キャンプの様子ってHPで見ることができるの？

A 各組のキャンプ終了後１週間程度でNPOグリーンウッド専任スタッフがコメントを添えて公開します。
アルバム代わりにもご活用ください。お子様の感動もさらに増すものと思います。

2025冬の山賊キャンプの様子はこちら▼

https://www.greenwood.or.jp/sanzokuwin/sawi_yosu/sawi_2025/sawin_2025.html

スタディクーポンの利用について

～多くの子どもに等しく体験の機会を～

グリーンウッドは教育こそが未来を創るという考えの基、様々な環境のこどもたちにも同様の体験を提供し、教育や体験の格差を減らす一助となるよう、２０２４年度よりスタディクーポン事業に登録しています。下記スタディクーポンをご利用の方は申込用紙に利用者コードを記入してお申し込みください。

CFCスタディクーポン・渋谷スタディクーポン・こども未来応援クーポン（千葉市）

※スタディクーポン利用者の方も他の申込者と同様に抽選で参加の可否、参加組は決定いたします。

※スタディクーポンとは公益財団法人チャンス・フォー・チルドレンが実施している、寄付金を原資に生活困窮世帯の子どもに学習塾や習い事で利用できるクーポンを提供する事業です。
詳しくは右記QRコードからHP(https://cfc.or.jp/)をご覧ください。

公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン
Chance for Children

募　集　要　項

１．名　　称

２０２６冬の信州こども山賊キャンプ®

２．目　　的

信州の地域・暮らしに根ざした自然体験活動を通じて人間の土台を育てる「楽しむ体験」「感じる体験」「生み出す体験」を通し、自分で人生を切り拓く力と社会をつくる力を育む。

３．参加資格

小学校１年生～中学３年生で、自分で参加の決意をし、やる気のあるもの。
※キャンプ参加中、お子様に体調不良がみられ、回復する様子が見られない場合やインフルエンザ、新型コロナウイルスなどの感染症に罹患した場合は、現地にてお引き取りをしていただきます。なお、現地でのお引き取りが困難な方はお申し込みをお受けできません。
※配慮すべき健康状態、発達障害（グレーゾーンを含む）等の特性、アレルギーについては、別途対応が必要となりますので必ずご記入ください。なお、状況によっては参加をご遠慮いただく場合がありますのであらかじめご承知おきください。
※過去の参加態度に鑑み、参加を拒否ないしお断りする場合もあります。

４．主催・体制

主　催：ＮＰＯ法人グリーンウッド自然体験教育センター
後　援：文部科学省・林野庁・長野県・長野県教育委員会・泰阜村・泰阜村教育委員会

５．場所・連絡先

場　　所：長野県下伊那郡泰阜村ほか
緊急連絡先：ＮＰＯ法人グリーンウッド自然体験教育センター　山賊キャンプ係
　　ＴＥＬ：０２６０－２５－２８６１

※キャンプに関するお問い合わせは、すべて主催者にお問い合わせください。
※キャンプ開催日までの電話受付時間は午前１０時～午後６時（土・日・祝日除）までとさせていただきます。ただし１１月７日（土）、８日（日）につきましては電話の回線を開けておりますので、ＦＡＸでお申し込みの方は到着確認をお願いします。
※キャンプ中の電話は原則としてお断りしていますが、緊急時のみ上記の電話番号で受け付けます。

６．募集期間

第一次受付期間　２０２６年１１月５日（木）午前１０時～１１月７日（土）午後６時
※第一次受付期間以降、定員に達しない組に関しては１１月３０日（月）まで受付

７．期間・日程・参加費

●全４組を実施します。下記日程を参考の上、内容、日程にあわせて希望の組をお決めください。
●組を連続して参加することも可能です。
●参加費は下記のとおりです。交通費については**８．交通**をご覧ください。

※いずれのコースにおいても、期間中の途中参加はできません。
※この参加費には交通費は含まれておりません。
※キャンプ中に発生したご本人のけが・病気による経費は保護者負担となります。

内　訳

●食料費　●人件費　●保険料
●通信費　●研究費　●消費税
●材料消耗品　●施設使用消耗費
●器具使用消耗費
●キャンプカウンセリング費
●キャンプ運営に必要なその他経費

～　２０２６冬の信州こども山賊キャンプ期間・日程　～

■ 山賊の里	発見者コース	１２月２６日～１２月３０日	４泊５日	３０人	５９,０００円
■ 山賊の森	冒険者コース	１２月２６日～１２月３０日	４泊５日	２０人	５９,０００円
■ 山賊の秘境	開拓者コース	１２月２６日～１２月３０日	４泊５日	１６人	５９,０００円
■ 山賊の宴	お年とりコース	１２月３０日～　１月　３日	４泊５日	３０人	５９,０００円

８．交　通

１．交通の委託について
●新宿・名古屋・長野からの往復は、「旅ねっと飯田（有）」がバス会社（信南交通（株））に委託した貸切りバスが運行されます。ただし**参加者数により高速バスなど公共交通機関を使用する場合があります。**
●名古屋方面については一部高速バスを使用することとなりますので予めご承知おきください。
●「旅ねっと飯田（有）」及びバス会社の過失に基づく交通事故に関しては、当団体は責任を負いかねます。あらかじめご承知おきください。
●参加者数が確定しましたら、新宿発・名古屋発・長野発別に人頭割した交通費をお知らせします。お知らせの発送日は１２月１日頃を予定しております。
２．交通のキャンセル・変更について
交通のキャンセルについては、９．参加組、交通のキャンセルについてをご確認ください。

≪予想往復料金≫
■ 新　宿往復…１４，０００円前後
■ 名古屋往復…　９，５００円前後
■ 長　野（諏　訪）往復…　９，５００円前後
■ 長　野（駒ケ岳）往復…　９，０００円前後
■ 長　野（飯　田）往復…　５，０００円前後

＊東京・名古屋・長野県内発着全て、片道利用は上記金額の半額となります。
＊バスの金額につきましては、各方面の参加者数により変更される場合がございます。
＊今後の原価高騰により上記以上に高くなる可能性があります。ご理解の程お願いいたします。

集合解散場所・時間（予定）について

＊集合前、解散後のお子様の行動は保護者の方の責任となります。
なお、集合場所で集合時間に集合受付を完了した時を「集合」とみなし、解散場所で解散時間に解散受付を完了した時を「解散」とみなしますのでその旨ご承知おきください。また、集合から解散までは団体行動となります。
＊バスの運行につきましては道路交通事情により集合解散予定時間を大きく前後する場合もございます。あらかじめご承知おきください。
＊各方面集合解散などの詳細・バスの金額・長野県内の解散時間の確定は最終お知らせ書類（１２月１日頃発送予定）にて通知いたします。

	集合	解散	所要時間	集合解散場所
新宿（東京）	12：30	12：00	5時間	東京都新宿区西新宿　東京都庁大型車両専用駐車場
名古屋（愛知）	14：30	12：20	3時間	愛知県名古屋市名古屋駅　名鉄バスセンター４F
諏訪（長野）	15：40	9：00	2時間	諏訪IC近辺「おぎのや」
駒ケ岳（長野）	16：30	8：00	1時間半	駒ヶ岳ＳＡ
飯田（長野）	17：10	7：30	1時間	飯田伊賀良バス乗り場
現地	17：00	9：00		ＮＰＯグリーンウッド（山賊キャンプ）事務所前

※新宿名古屋方面の方は、集合時に昼食・トイレを済ませてお越しください。
※長野県内の交通は新宿または名古屋方面のバスへの途中乗降となりますので、集合解散場所にスタッフはおりません。

９．参加組・交通のキャンセルについて

１．参加組のキャンセルについて
申込書提出後キャンセルが発生した場合、その旨を必ずご連絡ください。キャンセル料については、出発日を基準としてキャンセル料金を申し受けます。
出発日の１４日前から８日前は5,000円、７日前から出発前々日までは8,000円、出発前日は参加費の半額、出発当日以降のキャンセルは全額申し受けます。なお、返金手数料として一律1,000円（振込み手数料＋諸経費）を申し受けます。なお、キャンセルはFAX・Mail・郵送のいずれかの方法で早めに主催者までご連絡ください。（電話不可）**主催者に書類などが到着した時点でキャンセルの受理といたします。**
参加費を納入しないことはキャンセルの意思表示にはなりませんので、ご注意ください。
なお、参加費の返金につきましてはキャンプ終了後（１月６日以降）になります。

＜＜＜　キャンセル料　＞＞＞

１４日前から８日前	７日前から出発前々日	出発前日	出発当日以降
5,000円	8,000円	半額	全額

２．交通のキャンセルについて
交通のキャンセルについては、キャンプ主催者の管轄ではなく、「旅ねっと飯田（有）」の管轄となります。**１２月２０日以降のキャンセルについては全額をご負担いただきます。**【旅ねっと飯田（有）より】
※ただし、交通に関するキャンセル・変更などの連絡は山賊キャンプ事務局までお願いいたします。

１０．申し込みから参加までの流れ

募集期間　11／5（木）午前10時～11／30（月）

第１次受付期間　**11／5（木）午前１０時～１１／７（土）午後6時　抽選にて参加組決定。**

※第１次受付期間以降、定員に達しない組につきましては１１／３０（月）まで**先着順**にて受け付けます。

①お申し込み

お申し込みの方法は３通りあります。必ずご確認の上お申し込みください。

＊記入漏れがありますと受付できない場合もございます。特にFAXでお申し込みの際は、ボールペンなどではっきりとお書きください。
＊発達障害（グレーゾーンを含む）等の特性について、スタッフの配置やチーム編成上の配慮が必要となりますので、ご記入ください。なお、その場合であっても、１対１で大人を配置することは困難であることから、加配が必要な場合については参加をご遠慮いただく場合があります。
＊健康状態、アレルギー、過去の参加態度等に鑑み、参加を拒否ないしお断りする場合もありますので、あらかじめご承知おきください。

インターネット

https://www.greenwood.or.jp

インターネットからのお申し込み
500円の
割引特典あり

※申し込みデータが届き次第、お申し込みの際に記入されましたメールアドレス宛てに、グリーンウッドから受け取り確認のメールが送信されますので必ずご確認ください。
万が一届かない場合は、お手数ですが主催者までご連絡ください。
なお受け取り確認のメールは参加承諾のメールではございませんのでご注意ください。

郵　送

〒399-1801　長野県下伊那郡泰阜村6342-2
NPOグリーンウッド「山賊キャンプ」係

※日曜祝日の郵便配送はございませんのでご注意ください。
※昨今の郵便事情により到着までにお時間がかかっております。郵便につきましては募集期間前にも受け付けております。

FAX

0260－25－2850

※電話にて受信の有無をお問い合わせいただければ確実です。（土・日・祝日は電話回線は開いておりません。平日の受付時間内にお問い合わせください。）
ただし、１１月７日(土)、８日(日)につきましては電話の回線を開けておりますのでＦＡＸでお申し込みの方は到着確認をお願いします。

②お申し込み〆切

第１次受付期間：１１／７（土）午後６時まで。
第１次受付期間以降：定員に達しない組につきましては１１／３０（月）まで。

＊ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。定員に達しない組につきましては2次募集をする場合があります。

③参加承諾書

参加組決定後、約１週間で参加承諾書が郵送にて届きます。

＊１１月５日午前１０時から１１月７日午後６時までに受付されたお申込書につきましては、抽選にて参加組が決定した後、約１週間で参加承諾書が郵送にて届きます。
＊承諾書をもって参加の内定とさせていただきますので、必ず参加コース及び参加組をご確認ください。
＊１週間を過ぎても参加承諾書が届かない場合は山賊キャンプ事務局までご連絡ください。

④参加費入金

参加承諾書に同封いたします振込用紙にて、１週間以内に参加費をご入金ください。

＊参加費の入金をもって参加決定とさせていただきます。また、ご入金前であってもキャンセルの際は必ず書面にて山賊キャンプ事務局までご連絡ください。（内定を取り消される場合も必ず主催者までご連絡ください。）
＊領収書などの発行はいたしませんので、必ず振り込みの控えをお手元に保管してください。

⑤最終お知らせ

１２月１日頃、交通費の確定などを記した最終の事務連絡通知をお届けします。
到着後、速やかに開封し、中身をご確認ください。

＊「１週間の健康チェック票」や「事前連絡票」などをこのお知らせに同封いたします。
＊最終お知らせが届かない場合は山賊キャンプ事務局までご連絡ください。

⑥事前提出書類提出	**【１２月１０日締切】バス同乗者希望受付票：友人兄弟などバス同乗希望のある方** **【１２月１０日締切】事前連絡票：食物アレルギーのある方** ※食材準備の関係上必ず期日をお守りください。 **【各組開催の３日前〆切】事前連絡票：持病、アレルギー、お薬情報、おねしょなど主催者側への事前伝達事項のある方**
⑦「1週間の健康チェック票」記入	**参加の１週間前より「１週間の健康チェック票」へ朝晩の体温や体調を記入し、自分の体調を確認してください。**
⑧キャンプ参加	**集合解散場所・日時（参加組）を再度お確かめの上、お出かけください。** ＊当日は「１週間の健康チェック票」・「保険証のコピー」をご提出いただきます。 ＊当日体調不良によりご参加が難しいとご判断された場合は速やかに事務局までご連絡ください。 （「９．参加組・交通のキャンセルについて」「１１．参加組の移動について」に従って、キャンセル返金のお手続きを行います。）

１１．参加組の移動について

お申し込み後に組移動を希望される場合は、キャンセルと同様に書面にてお申し込みいただきます。
フォーム・Mail・ＦＡＸ・郵送のいずれかの方法で早めに主催者までご連絡ください。（電話不可）
主催者に書類などが到着した時点で組移動の受理といたします。ただし、定員の問題上ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。結果はできるだけすみやかに主催者より通知いたします。組移動によって参加費に返金差額が発生する場合は、返金手数料として一律1,000円（振り込み手数料＋諸経費）を申し受けます。なお、差額の返金につきましてはキャンプ終了後になりますのであらかじめご承知おきください。
※交通費のキャンセル・変更につきましては、９．参加組・交通のキャンセルについてをご覧ください。

１２．主催者側がキャンプを中止と判断した場合について

天災（地震・台風・大雪など）やその他の理由（新型コロナウイルス・インフルエンザ・キャンプ開催地に深刻な被害のある場合など）により主催者側で安全にキャンプが実施できないと判断した場合、FAX・Mail・お電話など申込書に記載していただきました連絡先に直接ご連絡させていただきます。なお、交通災害（道路遮断）等により日程に支障を来たし予定通りキャンプを実施できないと判断して中止する場合も含みます。また、主催者側がキャンプを中止と判断した場合、納入いただいた参加費より、返金手数料として一律1,000円を除いた額を返金いたします。同様に交通費につきましては交通を委託しております「旅ねっと飯田（有）」より、返金手数料として一律500円を除いた額を返金いたします。（キャンプ開始後の天災などの不可抗力な原因による活動期日の短縮の場合は返金できませんのであらかじめご承知おきください。）
なお、主催者側でキャンプの開催が可能と判断した場合であっても、交通事情により到着が大幅に遅れることや、バス会社の判断でバスの運行日程が変更されたことによりキャンプ開始予定日に到着できず活動日数が短くなることがあります。その場合には、参加費を返金することはできませんのであらかじめご承知おき下さい。
（バスの運行日程の変更によって全日程の参加ができなくなったために、出発前に参加をキャンセルする場合には、返金手数料を除いた額を返金いたします。）

１３．安全管理

各種活動フィールド、施設、移動手段等は、基本的に安全確認済みのものです。
また、村立の診療所の他、車で10分の場所に県立阿南病院（２４時間受付）があります。当センターでは活動中の事故などに備えて、救急救命救護法の国際インストラクター資格を取得した主催スタッフを現地に配置しております。
しかしながら、山賊キャンプは野外で行うものが多く、それらには危険がつきものです。活動フィールドの下見と対策、リーダー研修の実施、参加者への安全教育など、危険を最小限にするための安全対策を講じておりますが、設備、備品、活動において危険や事故がないということを保証することはできないということをあらかじめご承知おきください。また、万が一に備えて主催者側で下記のとおり一定の傷害保険に加入します。（疾病は適用されません。）
有事の際は、主催者側の過失の有無にかかわらず、その保険によって補償あるいはお見舞いいたします。
※キャンプ期間中の通院につきましては、保護者の方のご負担となりますので、ご承知おきください。

国内旅行傷害保険　契約保険会社・東京海上日動火災保険株式会社
最高限度支給額：１，０００万円　入院：１日３，０００円　通院：１日１，０００円（免責あり）
一人当たり保険料：４２６円

※スタッフ等の指示に従わないで起きた事故、お子様同士の事故（喧嘩、いじめ等を含む）、新型コロナウイルス・インフルエンザによる事故、事前申告にないアレルギー等の身体的ないし精神的疾患による事故、熱中症による事故、その他出発前・解散後の事故については一切の責任を負いかねますので、お子様への事前のご注意をお願いいたします。また、上記のような場合、キャンプ途中でお迎えをお願いする場合もございますので、あらかじめご承知おきください。

１４．スタッフ体制について

キャンプ期間中のプログラム運営における総括責任者、食材管理・衛生管理責任者、物資管理・運搬責任者は、主催者スタッフ及び主催者から委嘱された自然体験活動上級指導有資格者がその任にあたります。また、参加者（こども）と共に生活し、行動や心のケアをするのは、相談員（ボランティアリーダー）及び補助相談員（ボランティアジュニアリーダー）です。

●相談員（ボランティアリーダー）
主催団体の研修（安全管理・コミュニケーション等）を修了した大学生や社会人がその任にあたります。主催者はボランティアリーダーに対しても自然体験活動リーダー資格取得講座を設け、専門技能習得を奨励しています。（以上全国体験活動指導者認定委員会登録資格）

●補助相談員（ボランティアジュニアリーダー）
相談員のアシスタントとして、正規の研修を受けた高校生（相当）が活躍します。こどもたちのキャンプ生活をサポートする役割を果たします。毎年、多くの山賊キャンプのOB・OGが参加しています。

１５．個人情報保護について（グリーンウッド個人情報保護ポリシーより）

●参加者より取得した氏名、年齢、住所等の個人情報は当センター方針に基づき管理・保管しており、以下の場合をのぞきお客様の同意を得た者以外の第三者に提供、開示等一切いたしません。

①法令に基づく場合
②人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、お客様の同意を得ることが困難であるとき
③公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、お客様の同意を得ることが困難であるとき
④国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、お客様の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき
⑤その他法令で認められる場合

●今後当センターよりの各種ご案内やアンケートなどを、Mail、郵便等によりお客様に送信もしくは送付させていただく場合がございます。また、お客様のお申し出により、これらの取扱いを中止させることができます。
●キャンプ開催中に撮影しました写真、ビデオなどにつきましては主催者側でＨＰやＳＮＳ、YouTube、パンフレットなどの広報活動・その他自然体験教育の普及・推進のために使用する事がございます。（撮影は原則主催者のみ行います）あらかじめご了承ください。ただし、氏名・住所は掲載・公開いたしません。なお、ボランティアとして参加した学生の大学のパンフレットやＨＰに写真が掲載されることがありますので、あらかじめご了承ください。
●キャンプ期間中にテレビ、新聞などの取材がある場合もございます。その際には氏名などが掲載される場合もございます。あらかじめご了承ください。テレビ、新聞などの取材が開始された後に、放送、取材を拒否することは、放送局、新聞社等に損害を与えますのでお断りします。
●写真、ビデオなどの使用に際し、不都合のある方はあらかじめ（キャンプ開催まで）当センターまでご連絡ください。

１６．各種感染予防対策について

新型コロナウイルス感染症をはじめ各種感染症や食中毒への対策として、グリーンウッドでは各種ガイドラインを策定し予防に努めております。特に下記の対応を行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

１）事業実施時の感染防止策
・運営スタッフの毎日の健康チェック
・参加者及び運営スタッフの事業実施中の健康チェック・検温の実施
・参加者及び運営スタッフの手洗いの徹底
・参加者集合時の検温

その他「ＮＰＯ法人グリーンウッド自然体験教育センター主催事業における感染症対策ガイドライン」に準じた対応を行い、感染防止に努めます。

２）免責事項について
当法人は、「ＮＰＯ法人グリーンウッド自然体験教育センター主催事業における感染症対策ガイドライン」に従い、各種感染症への対策を講じております。万が一、新型コロナウイルス感染症など各種感染症へ罹患及び濃厚接触が生じたとしても、不可抗力を理由として当法人は責任を負いかねますのでご理解の程お願いいたします。

３）参加される皆様へのお願い

①開催１週間前からの検温を含む健康チェックシートの記入と提出

最終お知らせとともに「１週間の健康チェック票」をお送りいたしますので、開催１週間前からの体調管理とチェック票への記入をお願いいたします。

②下記に該当する場合における参加の取りやめの判断

●キャンプ参加前に保護者の方が健康状態を確認し、発熱、下痢等、共同生活に耐えられないと判断される場合。
●特に今冬も新型コロナウイルス感染症はじめ、インフルエンザなどの流行も懸念されますので、キャンプ参加１週間前に同居するご家族などで流行性疾患などの発生があった場合の参加について慎重にご検討ください。
なお、万一参加中に発症のあった場合には、お迎えをお願いいたします。

③キャンプ実施中の体調不良の際のお迎え

キャンプ参加中、お子様に体調不良がみられ、回復する様子が見られない場合や新型コロナウイルスなどの感染症に罹患した場合は、現地（長野県泰阜村）にてお引き取りをしていただきます。なお、現地でのお引き取りが困難な方はお申込をお受けできません。なお、その際の参加費につきましては返金いたしかねますのでその旨ご承知おきください。

１７．その他

●持ち物につきまして持ち物一覧表をご参照ください。参加承諾書にも同封しますのでご覧ください。
●持ち物の紛失、破損（汚れを含む）についての責任は負いかねますことを予めご承知おきください。
●お電話の受付時間は午前１０時から午後６時までとさせていただきます。（土・日・祝日除）
FAX、Mailにつきまして、随時受付を行っております。ただし、営業時間外のお問い合わせ等についての返信は翌営業日以降となりますので、予めご了承ください。
●その他詳細事項につきましては、参加承諾書発送時、最終お知らせ発送時にお知らせいたします。
●募集要項を含めパンフレットまたはHP等すべてをご覧いただいた上でお申し込みください。

***** 持ち物一覧表 *****

＊かならず自分で荷物を用意してかばんにつめてね！
＊どんな小さいものにもかならず名前を書いておいてね！

★の持ち物は小さめのリュックに入れてきてね！

■小さめのリュック
大きいリュックとは別に、ハイキングやバスで使うのに必要です。ナップザックでもいいです。

■水　筒
行きのバスで飲むお茶を入れてきてください。
キャンプ場で飲むお茶は用意してあります。

■米1kg（7合）
キャンプ中にみんなが食べる分です。
連続参加する人も1kgでいいです。

■受付時提出書類★
保険証のコピー＆1週間の健康チェックシート。
万が一けがをしたときには絶対必要です。
1週間前からの健康チェックも忘れずに行ってください。

■マスク
バスの中などでマスクをつけることもあります。不織布のマスクを日数分（5枚程度）持ってきてください。

■防寒着
寒さと風を防げるようなジャンパーやコートを持ってきてね。
温かい手袋もあるとよいです。

■長そで・長ズボン
セーター、フリースなどの中間着になる暖かいものもあるといいよね。

■下　着
泊数分あれば安心です。

■ビニール袋
汚れ物を入れたり、ぬれたものを入れたりします。

■筆記用具
キャンプでできた友だちと住所交換したり、絵をかいたりします。
キャンプから帰った後で、キャンプ事務局に住所のお問い合わせをいただくこともあります。個人情報保護の観点より、お答えできないことをご理解ください。

■タオル・バスタオル
お風呂の時に使います。シャンプーや石鹸はこちらにあるものを使います。（シャワー用1枚・洗面用1枚）

■大きめのリュック
特に低学年のお子様には両肩で背負うタイプをお勧めします。
肩から下げるのと、両肩で背負うのではかなり重さの感じ方に違いがあります。

■食　器
食事の基本はごはん・汁物・おかずです。おわん1つ・お皿1つ・コップ・はし・スプーンがあれば十分です。
※消毒、やけど、けがの関係上プラスチック製のものをお勧めします。

■雨がっぱ
山の天気は変わりやすいです。多少の雨の場合でも、野外で火をおこします。上下が分かれているカッパであれば、扱いやすいでしょう。

■懐中電灯
夜にきもだめしやナイトハイクを行うこともあります。夜の行動には必ず必要です。替えの電池があるといいです。

■体温計
毎日体温を測りますので、日常お使いのものをお持ちください。

■名　札
どのようなものでもいいです。自分が呼ばれたい名前（キャンプネーム）を書いて、集合場所からつけてきてください。

■軍　手
火をおこす時や、工作の時に必要です。化繊のものは溶けてやけどの原因になります。必ず純綿の軍手をご用意ください。

■帽　子
寒さから耳を保護できるような暖かいものがあるといいよ。

■運動ぐつ
外で焚き火をしたり、ハイキング時には必要になりますので必ず持ってきてください。（参加当日はいてきてください。）

■長ぐつ
山の中に入ったり、雪が降ったりしたときなどにあると便利だよ！

■寝　袋
基本的にどんなものでも構いませんが、必ず必要です。夏用の薄手のものでも大丈夫です。スポーツ用品店やホームセンターでも売っています。※寝袋の袋にもお名前をお書きください。

■洗面用具
ハミガキセットです。毎日のハミガキや洗面で必要です。

★必要なら持ってきてね！

- □**常備薬**（いつも飲んだり、塗ったりするお薬がある人はかならず持ってきてね。）
- □**その他**（ないと困るものは持ってきてね。）

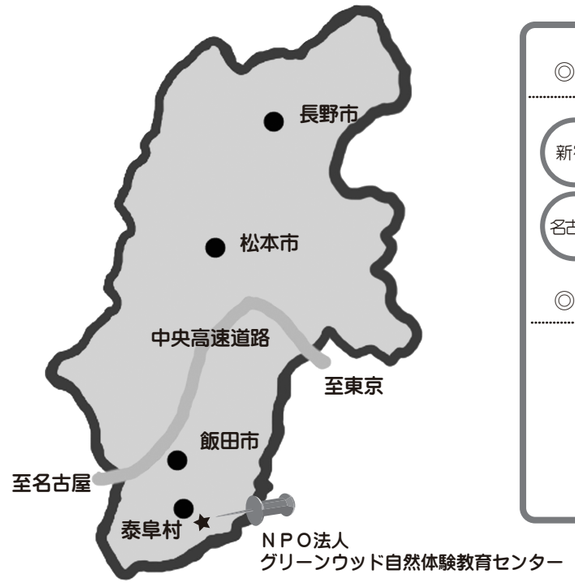
★持ってきちゃだめだよ！

- □**おかし・ジュース**（こちらで準備しておくので心配しなくてよいです。）
- □**おもちゃ**（ゲームなどのおもちゃはお家へ帰ってからやってください。）
- □**カメラ**（カメラより目や心に風景や想い出をきざんでいってください。）
- □**余分な衣類**（着ない服は荷物が重くなるだけです。自分でリュックを背負えるだけの量にしてください。）
- □**現　　金**（なくしたりすると大変なので持ってこないでください。）
- □**宿　　題**（キャンプへ来る前に終わらせるかキャンプが終わってからやってください。）
- □**時　　計**（時間にとらわれないキャンプがしたいので持ってこないでください。）
- □**携帯電話・GPS**（キャンプでは使わない、また、リチウム電池からの発火の危険もあるので持ってこないでください。）
- □**親の期待**

★その他

●荷物を入れる大きなリュックについて：自分で運べるサイズの大きさと荷物の量ならどんなものでもOKですが、肩に背負えるリュックがおすすめです。
●洗濯について：連続参加の人はキャンプの途中で洗濯の時間をとります。（洗剤や洗濯バサミは洗濯場にあります。）
●その他何か質問があればTEL・FAX・Mailにて受け付けております。お気軽にお問い合わせください。
（受付時間午前10時～午後6時・土日祝日除く）
●万が一持ってきてはいけないものを持ってきた場合、キャンプの趣旨を鑑み、期間中、主催者で預からせていただくことがあります。また、なくしてしまった場合には責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

長野県マップ



◎車利用の場合

新宿 ― 中央道 約4時間 ― 中央道飯田山本ＩＣ
名古屋 ― 中央道 約2時間 ― 中央道飯田山本ＩＣ
中央道飯田山本ＩＣ ― 三遠南信自動車道 約10分 ― 千代ＩＣ ― 約30分 ― ＮＰＯグリーンウッド

◎電車利用の場合

ＪＲ飯田線温田駅 ― タクシー 約10分 ― ＮＰＯグリーンウッド

（詳細はお問い合せください。）

長野県泰阜村

長野県の南部、天竜川の東側に位置し、豊かな自然とふるさとの味と香り、伝統ある文化に恵まれた風光明媚な山村です。四季の自然美を楽しみながら水しぶきにぬれて天竜川を下る「天竜ラインくだり」、信州の代表的秘境「万古渓谷」は沢歩き、渓流釣り、キャンプ等に訪れる人を楽しませてくれます。

また、昭和初期の農村不況の中、児童生徒の情操を深めるために作品の収集を始め、現在４００点余を収蔵する全国的にも希な村立「学校美術館」があります。江戸時代から伝わる「くれき踊り」は年貢をくれ木で完納した祭りで、深い味わいがあり、今に伝承されています。

人口は約１４００人。素朴な村の人たちと豊かな自然が皆さんをお待ちしています。

泰阜村公式HP　https://www.vill.yasuoka.nagano.jp/

２０２６冬の信州こども山賊キャンプ®
発　行　日：２０２６年　１０月１５日
発　行　者：NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター
発行責任者：齋藤　新
編集担当者：辻　典子